

津久見 市議会だより

Tsukumi City Council News

第

91

号

3月 6月
12月 9月

令和7年12月 定例会
令和8年2月1日発行

編集発行：大分県津久見市議会
TEL 0972-82-9518



第42回 歳末たすけあいチャリティーショー

お詫び、12月定例会	2
市政を問う（一般質問）	4
総務常任委員会行政視察報告	8
社会文教建設常任委員会行政視察報告 ..	9
議会報告会	10
議員研修会	11
みんなガンバレ！（議会体験学習会）	12

お詫び

11月1日発行の議会だより第90号ですが、手違いにより配布が遅れ、11月15日の回覧板での配布となりました。ご迷惑をおかけし、大変申し訳ございませんでした。今後は再発防止に努めたいと思います。

議会だより編集委員一同

12月定例会

会期：12/1~12/19
(19日間)

総務常任委員会

12月11日、本委員会に付託された議案4件及び継続審査の意見書1件について審査を行いました。

◆議案第85号 津久見市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について

【説】 国家公務員の給与に関する人事院勧告、大分県人事委員会勧告等を勘案し、市議会議員の期末手当の支給率の改正を行うもの。

【結】 反対討論があり、採決の結果、可決しました。

◆議案第86号 津久見市職員の給与に関する条例等の一部改正について

【説】 国家公務員の給与に関する人事院勧告、大分県人事委員会勧告等を勘案し、職員の給料表の改定、期末・勤勉手当の支給率の改正及び特別職の期末手当並びに会計年度任用職員の期末・勤勉手当の支給率の改正等を行うもの。

◆議案第87号 津久見市火災予防条例の一部改正について

【説】 令和7年2月26日に発生した岩手県大船渡市林野火災を受けて、林野火災の発生及び延焼拡大を防ぐため、火災に関する警報について消防法第22条第3項を記載することを明確化する等の改正を行うもの。

◆議案第88号 津久見市印鑑条例の一部改正について

【説】 電気通信事業法及び日本電信電話株式会社等に関する法律の改正に伴い、引用先の条項ず

れの整理等の改正を行うもの。

【結】 以上3議案について、それぞれ質疑がありましたが、審査の結果、全会一致で可決しました。

◆意見第5号 刑事訴訟法の再審規定(再審法)の改正を求める意見書(案)

【結】 閉会中の継続審査となりました。

社会文教建設常任委員会

12月11日、本委員会に付託された議案5件について審査を行いました。

◆議案第84号 津久見都市計画土地区画整理事業完了に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

【説】 土地区画整理法の規定に基づき実施していた第二千怒及び第三上宮本の土地区画整理事業について、対象者全員の清算金の徴収を終え、当該事業をそれぞれ完了したことから、廃止及び削除の整理を行うもの。

◆議案第89号 津久見市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部改正について

【説】 児童福祉法等の改正に伴い、引用先の項の整理や幼保連携型認定こども園や幼稚園の場合は認定こども園法を引用することなどの改正を行うもの。

◆議案第99号 他の普通地方公共団体の公の施設を津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について(大分市)

【説】 大分都市広域圏を形成する大分市の「府内こどもルーム」ほか11施設を津久見市の住民の利用に供させること。

◆議案第100号 他の普通地方公共団体の公の施設を津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について(別府市)

【説】 大分都市広域圏を形成する別府市の「別府市南部子育て支援センターわらべ」ほか3施設を津久見市の住民の利用に供させること。

◆議案第101号 他の普通地方公共団体の公の施設を津久見市の住民の利用に供させることに関する協議について(由布市)

説 大分都市広域圏を形成する由布市の「こどもルームはさま」を津久見市の住民の利用に供させること。

結 以上5議案について、それぞれ質疑がありましたが、審査の結果、全会一致で可決しました。

予 算 常 任 委 員 会

12月12日、本委員会に付託された議案10件について審査を行いました。

- ◆議案第90号 令和7年度一般会計予算の補正について
- 説** 歳入歳出それぞれ5億4,599万5千円を追加し、補正後の予算の総額を136億2,036万9千円とするもので、主な内容として、歳出では保戸島漁港事業・津久見港改修事業に伴う県営工事負担金、物価高騰に伴う学校給食費支援事業補助金、早期退職に伴う退職手当、昨年度の各種事業費の確定に伴う国・県補助金等返還金など、歳入では各種事業に伴う国県支出金、令和6年度決算の確定に伴う繰越金などを計上したもの。
- また、繰越明許費補正として新庁舎等建設事業など6件を、債務負担行為補正として一般廃棄物収集業務委託など9件を計上したもの。
- ◆議案第91号 令和7年度国民健康保険事業特別会計予算の補正について
- ◆議案第92号 令和7年度奨学資金事業特別会計予算の補正について
- ◆議案第93号 令和7年度津久見市後期高齢

- 者医療特別会計予算の補正について
- ◆議案第94号 令和7年度介護保険事業特別会計予算の補正について
- ◆議案第95号 令和7年度保戸島航路事業特別会計予算の補正について
- 説** 以上5議案については、令和6年度決算の確定に伴う繰越金などを計上したもの。
- ◆議案第96号 令和7年度津久見市水道事業会計予算の補正について
- ◆議案第97号 令和7年度津久見市下水道事業会計予算の補正について
- ◆議案第98号 令和7年度津久見市簡易水道事業会計予算の補正について
- 説** 以上3議案については、工事請負費、令和6年度決算の確定に伴う繰越金などを計上したもの。
- ◆議案第102号 令和7年度一般会計予算の追加補正について
- 説** 歳入歳出それぞれ1億983万9千円を追加し、補正後の予算の総額を137億3,020万8千円とするもので、その内容は、国において強い経済を実現する総合経済対策が閣議決定されたことに伴い、本市で実施する物価高対応子育て応援手当支給事業、低所得世帯食料品等物価高騰支援商品券配布事業、プレミアム付クーポン券事業の予算を計上したもの。
- 結** 以上10議案について、それぞれ質疑がありましたが、審査の結果、全会一致で可決しました。

議 案 の 賛 否 表		賛否の分かれた議案のみ掲載しています。 ○：賛成 ●：反対 棄：棄権 欠：欠席											
議 案 名		植田 志ほ	野田 和廣	内田 隆生	島田 勝	倉原 英樹	丸木 一哉	菊池 正一	井戸川 幸弘	黒木 章三	宮本 和壽	高野 幹也	知念 豊秀
議案第 85 号 津久見市議会の議員の議員報酬及び 費用弁償等に関する条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	●

令和8年 第1回
3月定例会の
ご案内(予定)

3月 2日(月) 開会
10日(火) 一般質問
11日(水) 一般質問
12日(木) 常任委員会

3月13日(金) 常任委員会
16日(月) 常任委員会
17日(火) 常任委員会(予備日)
23日(月) 採決・閉会

市政を問う

一般質問

12月9日(火)・10日(水)

7 議員が登壇 傍聴者延べ 34 名

顔写真横の
二次元コードから
各議員の一般質問
の動画をご覧いた
だけます。



津久見市議会録画映像インターネット配信 ▶ <http://www.kensakusystem.jp/tsukumi-vod/index.html>

今後どうする？ 港まつり

う え だ し ほ
植 田 志 ほ



問 駐車場の有料化・有料席を!!

答 限られた予算の中で持続可能な祭りにするため、市民のための祭りにするため、専門家のマネジメントによる祭り全体の警備体制などを協議し、耐震バースの有料駐車場、つくみん公園内のイベントサークルの有料化を決定しました。

問 有料化に対してトラブル等あったのか

答 専門業者に、申し込み、入金、問合せ、当日の案内や警備を一括委託したが、大きなトラブルはなかったです。

問 来年以降の開催に向けて、予算や規模について、どのように考えているか

答 令和6年から令和7年にかけて、約7%の費用が上昇したので、来年度も物価高騰の影響はあると考えています。今後は、単なる個別の問題解決に留まらず、祭り全体の持続可能性を最優先課題とし、

新たな有料化での財源確保に向けた施策を協議していきます。

問 市民の誰が来ても楽しめる祭りのために、小さな子どもを連れたファミリーエリア、お身体の不自由な方がゆっくり見る事のできるための取り組みとして、新庁舎の利用が考えられるが、考えはどうか

答 新庁舎供用開始後は、庁舎内の市民交流スペース等での観覧について、今後、実行委員会で議題になると思うので、協議していきます。

問 今後どうする？ 港まつり

答 これまで携わっていただいた方達の賜物である「つくみ港まつり花火大会」を今後とも持続あるイベントとし、市民に親しまれる花火、観光面では、津久見市を多くの方に知っていただき、関係人口、交流人口の創出を図り、継続的に経済波及効果があればと考えています。

「旧第二中」利活用を有効的に！

まるき かずや
丸 木 一 哉



問 利活用の検討は、どこまで進んでいますか

答 11月に開催した検討委員会での協議の結果、管理教室棟の2階にある5教室を社会実証実験の対象として「普通財産」として貸し出すこととしました。これについては、「老人憩いの家」や「とぎ倶楽部」、地域の寄り合いなど多様な機能をシェアする形で活用し、より多くの御意見をいただきたいと考えています。その御意見を基に改修が必要な箇所の洗い出しを行い、エレベーターの設置を含めた改修を令和9年度に実施したいと考えています。

問 利用開始時期は、どうなっていますか

答 年明けの2月中に施設見学会を開催し、アンケートを実施したいと考えています。本格運用は、令和8年5月を目途に取り組んでまいりたいと考えています。

新庁舎建設について

問 進ちょく状況は、どうなっていますか

答 進ちょく率は11月末時点で、64.3%、また12月12日には5階のコンクリート打設を行い、躯体工事が完了する予定です。

問 延期に伴う建設工事費の変更はありますか

答 建設工事予算額41億円の中で収まる見込みです。

問 建設工事費以外で、これからかかる費用は、どうなっていますか

答 今後、移転にかかる費用としては、新規什器備品の購入費、引っ越しの委託料、情報・防災関連の移転費、情報インフラ工事費等で3億2千万円程度必要となる見込みです。これらの費用に関しては、庁舎管理建設推進基金での対応を考えています。

新庁舎にあわせた 行政手続きの効率化を！

いどがわ ゆきひろ
井戸川 幸 弘



問 新庁舎における申請が必要な各課の配置について

答 新庁舎内の各課の配置は主に2階と3階になり、2階には市民が多く利用される窓口をワンフロアに集約しているほか、社会福祉課の窓口を入り口から一番近い所に配置し、視覚に障がいがある人でも、安心して市役所に来ていただくように配慮しています。3階においては市民の利用する窓口が多い教育委員会を入り口側に配置します。

問 デジタル庁が進めている「書かないワンストップ窓口」について

答 「書かないワンストップ窓口」とは、市民の方が窓口にて各種手続きをする際、申請書類に手書きで記入する作業を減らし、複数の窓口を回らず一つの窓口で複数の手続きをまとめて完了できるようにすることで、国においてはデジタル

庁がこれを推進しています。本市においては大分県での共同目標に沿ってオンライン申請の更なる拡充を図り、また国の指針に従い、行政手続きの効率化、市民負担の軽減となるよう関係各課と連携し、津久見市の状況にあった「書かないワンストップ窓口」サービスの検討を行います。

問 津久見市において人工知能（AI）の活用について

答 自治体におけるAIの活用方法として、文書・資料作成、データ入力・処理など内部業務の利活用など、AIを活用することで職員の業務効率化と市民サービスの向上を両立させることが期待されています。しかしながらAIの活用には課題点も多く、本市としてはAIを活用できる人材育成を行い、国が定めるガイドラインに沿ってAIの利活用について検討して行きます。

行財政改革実行計画と その後の行政運営執行指針

みやもと かずとし
宮本 和 壽



市の財政が破綻し、財政再建団体になりかねない状況で、平成 16 年緊急行財政改革実行計画が策定され、平成 25 年までの 10 年間、多岐にわたる改革により、約 20 億円の財政調整基金が確保でき、その後、行政運営執行指針に引き継がれました。

その指針には、数値目標がないために実行性が見えなく、令和 6 年度には 12 億 8 千万円まで減少しています。

問 緊急行財政改革実行計画から 20 年が経過した今、市の財政はどのような状況ですか

答 津久見市では、平成 19 年度には、特定目的基金を含め全ての基金が枯渇し、平成 20 年度には、財政再建団体に陥ることが予測されたため、平成 16 年に緊急行財政改革実行計画を策定し、平成 25 年度末には、基金枯渇を回避しました。目的基金を含めた全体で約 36 億円の基金確保が図られ、当時の危機的な財政状況から脱することができました。

しかし、一時の危機的な財政状況から脱却した

ものの、今後、大型事業が予定されていることから、地方債は上昇傾向にあると思われ、改めて基礎的財政収支の指標に注視し、職員にも行政運営執行指針の周知を図りながら、健全な財政運営に努めています。

経常収支や公債費の比率は、減少していますが、プライマリーバランス（基礎的財政収支）の指標が示されていないので、財政の健全性がわかりません。

問 平成 17 年度の地方債残高は、特例会計を含め約 175 億 3,630 万円でした。令和 6 年度の地方債残高の総額は

答 令和 6 年度の特例会計を含めた地方債残高の総額は約 139 億 8,400 万円です。

◆その他、石川市制の取り組みについて、地域公共交通についての 2 件を質問しました。

大規模火災、大丈夫か

ちねん とよひで
知念 豊 秀



問 津久見市で佐賀関同様の大火が起こる可能性は

答 津久見市でも住宅密集地が点在しており、他人事ではありません。

問 本市の対策は

答 出火させない取組と、いざ出火した場合には、早期発見、早期通報、初期消火が非常に重要です。

問 空き家の防火、安全対策は

答 重要な行政課題の一つとして考えていますが私有財産との関係から、慎重な対応が求められています。

◆長年、管理放棄された空き家もあります。大火事になれば災害を拡大する要因になったのが佐賀関大規模火災でした。有効な災害対策ができるように国に法の改正を要望してはどうかと取り上げました。

ギャンブル依存症対策について

問 市民向けの依存症相談体制は

答 現在、本市では「ギャンブル依存症」を含めた、多様な相談を受け止め、全庁での相談体制を構築しています。そのうえで、大分県の「こころとからだの相談支援センター」を紹介し、その後、医療機関や家族サポートプログラム等の支援につなげています。

問 多重債務などを含めた支援体制は

答 相談窓口職員を配置しており、ケースによって委託業者と共同で対応しています。

問 小中高生への予防教育は

答 高校では、教材内容として扱っています。小中学校では直接的に扱うことになっていません。

◆その他、「学校給食費の無償化について」、「物価高騰における貧困対策について」質問しました。

危険空き家対策の強化を!!

しまだ
島田

まさる
勝



問 本市の空き家件数の推移は

答 平成28年度から、おおむね5年を目途に市全域を対象とした「空き家実態調査」を実施しています。令和4年度の調査では、利活用が可能と思われる空き家が690件、利活用が困難と思われる空き家が253件で総数943件となっており、平成28年度と比較すると、総数で15件の増加、利活用可能な空き家は12件の減少、利活用困難な空き家は27件の増加となっています。

問 危険空き家等除却事業補助金の活用状況の推移は

答 本事業は基準を満たす空き家等の除却に対し、上限50万円の範囲で補助を行うものです。直近5年間の交付件数は、令和2年度5件、令和3年度7件、令和4年度5件、令和5年度7件、令和6年度5件となっています。

問 今後も空き家は増加すると考える。これまでの

取り組み、プラスαで市独自の施策を検討したらどうか

答 市民の安全・安心の確保や空き家対策の実効性を踏まえつつ、財政面も含めた形で総合的に検討していきます。

いのちを繋ぐ救急船!!

離島における救急船について

問 救急搬送の推移は

答 直近5年間の実績では、保戸島は令和3年度20件、令和4年度34件、令和5年度35件、令和6年度25件、令和7年度は11月末現在で21件。5年間の合計135件です。無垢島は令和3年度2件、令和4年度2件、令和5年度から令和7年度までは0件。5年間の合計4件です。

◆その他、「救急船を取り巻く、今後の課題の認識について」を質問しました。

がんばれ技能実習生

たかの
高野 幹也



外国人技能実習制度について

問 津久見市の技能実習生の推移は

答 津久見市における実習生の推移は、令和5年6月末は技能実習生25人、特定技能実習生3人、令和6年6月末は技能実習生26人、特定技能実習生2人、令和7年6月末は技能実習生32人、特定技能実習生18人で、介護、水産加工、土木、車両整備等で活躍しており、今後、更に増加していくと思われます。

問 市の取組は

答 津久見市としては、本年3月に事業者向けに「津久見市外国人受入れ支援セミナー」を開催しました。また10月28日～11月29日まで大分県と連携し、日本語教室を延べ8回開催し、初級コースで18名、N3コースで13名、合計31名の参加がありました。

市内の飲食店事業者について

問 津久見市内の飲食店数は

答 津久見市観光協会の会員で飲食店関係者は、料理店、居酒屋、スナック、弁当店、スイーツ店などを含め69店舗、また津久見市飲食店組合会員数は56店舗、未加入の店舗もあるので、市内の飲食店数は60～70店舗と想定しています。

問 今後に向けての課題は

答 昨今の新型コロナウイルス感染症拡大の影響や、材料費をはじめとする物価高騰及び最低賃金の上昇などで、経営は厳しいことが予想されます。また人口減少、少子高齢化が続く本市においては、事業継承、人材確保が喫緊の課題です。

◆その他、「全国学力・学習状況調査及び大分県学力定着状況調査について」、「津久見市の小学校の在り方検討委員会について」質問しました。

こまえ

狛江市（東京都）

『書かない窓口について』



狛江市は、世田谷区などに接し、ベッドタウンとしての性格を帯びる日本で2番目に面積が小さい市である。令和6年12月から、市民の利便性向上及び業務効率化を目的とした「書かない窓口」を導入している。書かない窓口は、市民課における「転入」、「転出」等の住民異動に関する手続きにおいて、マイナンバーカード等の読み込みや聞き取り内容を職員が入力することで、手書きによる各種届出作成の手間を省略するもので、部署間で情報を引き継ぐため、各窓口での手続きの度に手書きで記入する負担を軽減しており、この取組について、視察させていただいた。



「書かない窓口」は、副市長の大本命で始めたが、庁舎が古いうえ狭く、お金と時間もかかることから、ワンストップ化は無理だったとのこと。また、都心に近いベッドタウンということもあり、子育て世代の転入・転出・出生・転居が多いため、こうした需要に特化したとのことだが、津久見市の場合では、超高齢化社会に特化することも必要かと感じた。



桜の名所でもある新倉山浅間公園の五重塔から望む富士山の絶景を多くの観光客に見てもらうため、クラウドファンディングを活用して展望デッキをリニューアルしたが、目標額1億円に対し、8,652人から4億1千万円を超える寄附があった。津久見市では、「四浦半島、保戸島と河津桜の眺望」のための展望デッキ、駐車場などの整備や「桜と鉾山」「桜と工場群夜景」などに、この取組が大いに参考になると感じた。

富士吉田市（山梨県）

『桜観光について』



「富士山がきれいに見える商店街！」として世界に紹介されたのをきっかけに、現在、本町2丁目交差点には、国内外から1日に2,000人以上の方が訪れるようになったが、「ふじよしだまちづくり公社」を設立し、魅力的なお店や飲食店を増やし、訪問者が滞留し、市内にお金を落としていただく環境を整えるため、ふるさと納税のクラウドファンディングでいただいた寄附金の一部を使って「まちづくりファンド事業」に取り組んでおり、その一環である「桜と富士山の眺望」をメインとして展望デッキ等のクラウドファンディングの取組について、視察させていただいた。

視察先

デイサービス ラスベガス町田木曽 (東京都町田市；人口 430,474 人)



視察目的 デイサービス ラスベガス町田木曽の設立・運営等について

- 既成のサービスに捉われずに、ゲーミングの理論を取り入れ、ゲーム（マージャン、パチンコ、カラオケ、ポーカーなど）を通して、機能訓練やレクリエーションを提供し、利用者が楽しみながら主体的に取り組める施設を目指し 2013 年に開設しました。
- 利用者の平均年齢は 83 ～ 84 歳で、男性が多く 7 割程度を占めています。登録者は 100 名で定員が 30 名の介護保険事業適用内でのデイサービス事業を運営しています。
- 利用者の満足度は高く、利用することで元気になり、介護度が下がる方も多いとのことでした。



視察先

みどり市多世代交流館 (群馬県みどり市；人口 48,279 人)



視察目的 みどり市多世代交流館の設立・運営等について

- 平成 24 年 3 月に閉校した小学校を利活用するため、同年 11 月に学校跡地利活用検討プロジェクト会議を発足させ、令和元年 11 月に多世代交流館として開所しました。
- 人口減少・高齢化社会が進む地域に、人が集い、世代間交流できる施設として、人々の交流エリア、スポーツエリア、地域産物振興エリア等を備え、それぞれが活動する中で、つながることで活力と想像力にあふれた市の一体感を醸成することを目的としています。
- 総工事費は 2 億 7,100 万円。利用者数は、令和 6 年度で 29,671 人。令和 6 年度の収支決算は、収入が 1 万 5 千円、支出が 1,506 万円となっています。令和 2 年からは、公民館機能を有し、防災機能施設として活用しています。今後の展開として、老朽化に伴う維持管理と駐車場不足の解消など課題も残っています。



〔 所 感 〕 社会文教建設常任委員会では、高齢化率 47%を超えた津久見市の高齢者支援のあり方や旧第二中学校の跡地利用について、津久見市の課題として重要と考え、今回の行政視察によって津久見市に反映できる施策を探っていくことになりました。

行政、民間が一体となって、津久見市の将来の課題に取り組み、市民の皆さんの健康や将来の安心に繋げていけるように、今回の視察で学んだことを活かしていきます。

令和 7 年度 第 2 回議会報告会を開催しました

11月5日・6日に、各議員が2班に分かれ、市内4地区で議会報告会を開催しました。各委員会の報告、令和6年度決算の説明、建設中の新庁舎の進捗状況などの報告後、参加していただいた市民の方から地域の状況、市政に関する事、議会に関することへのご要望や様々なご意見をいただきました。これからの議会及び議員活動に活かしていきます。ご参加ありがとうございました。



詳しくはこちら

○各会場での開催日時と来場者

日 時	会 場	来場数
11月5日(水) 19:00～	入船公民館	9名
	彦ノ内公会堂	13名
11月6日(木) 19:00～	津久見市民会館	11名
	江ノ浦公民館	28名

○会場での意見等

【旧第二中学校の跡地活用】

- 跡地を公民館にすると聞いたが、今どうなっているのか。
- 体育館は老朽化しているが、今後どうするのか。

【市役所新庁舎建設について】

- 建設において設計変更などは行ったのか。
- 工期が延びると説明があったが、工事金額は増額されるのか。
- 建設後の中心市街地の活性化計画はどうなっているのか。

【第6次総合計画作成について】

- 基本構想、基本計画について、津久見市の人口は1万4千人まで減っていて昨年の出生数も40人ほどの事だが、人口の急減は今後どうなるのか。希望の持てる計画を考えてほしい。
- 作成にあたって市民の声を反映させてほしい。行政が計画を作成してしまうと、総合計画を作成しても市民の関心がなくなるのではないのか。
- 総合計画を作成しているが、すでにある津久見市グランドデザインはどうなるのか。

【学校関連】

- 小学校統合の検討委員会に関する新聞記事が出ていたが、計画案を作成する前に市民の意見を聞いてほしい。

【バス・公共交通関連】

- バスの運賃が10月から200円に安くなったが、バスの便数が減って不便。バスの便数が増やせないのか。

【ふるさと納税関連】

- 津久見市の返礼品はどのような物があるか。
- もっとPRして津久見に寄付が集まるように取り組むべきでは。

【その他】

- ラウンドアバウトが開通したが事故は起きていないのか。安全対策は。
- 少子高齢化、人口減少が止まらない状況で企業や事業所は外国人人材の力を借りているのが実情で、津久見市では外国人との共生はどう考えているのか。



入船公民館



彦ノ内公会堂



津久見市民会館



江ノ浦公民館



『津久見高校の現状について』

講師 津久見高等学校

校長 佐藤 毅 氏

令和6年度 津久見市内中学校卒業生の進路先

県内県立高校	県内私立高校	県外高校	その他(通信制)
78.5%	15.1%	3.2%	3.2%
13校	7校	3校	

・津久見市内中学校卒業生が津久見高校へ入学する割合は、30.1%となっています。近年では、通信制高校の人気があるそうです。



令和6年度 津久見高校卒業生進路状況

- 国公立大学：1%
- 私立大学：16%
- 短期大学：4%
- 専修(専門)学校：18%
- 就職：59%
- その他：2%

となっています。

令和7年度 津久見高校在籍生徒数

	普通科【L科】	生産機械科【M科】	電気電子科【E科】	地域みらいビジネス科【F科】	合計	津久見市内中学校出身者数
1年	14	25	26	57	122	28 (23%)
2年	20	18	17	42	97	29 (30%)
3年	23	23	26	44	116	36 (31%)

【臼杵市内中学校出身者割合 46.3% (1年生 51.6%)】

・津久見市内中学校出身者が占める割合は、全学年で約3割と少なく、特に臼杵市内中学校出身者が46.3%と多くの割合を占めているとのことです。

※最後に、進む少子化の中でありますので、市内中学校卒業生が1人でも多く津久見高校に来ていただくことはもちろんのこと、市外中学生からも来てもらえるような他校にない特色づくりと魅力の充実に努めていきたいとのことでした。

これからの津久見のために！ 津久見で頑張ってる人を応援します♪



みんなガンバレ！



津久見小学校



青江小学校



堅徳小学校



千怒小学校

今回は津久見市内の
小学6年生が議会体験に
来てくれました。

その様子をご紹介します♪



11月13日と14日に、市内小学校6年生による「議会体験学習会」が行われました。

まずは、議員と一緒に市議会の仕組みについて、クイズを取り入れた学習会をしました。

その後、議場へ移動し、議員による「お手本」の後、「議長役」「議員役」「市長役」などに配役され、それぞれの立場で、模擬議会を体験しました。

児童たちは、言葉もはきはき言えており、本番さながらの雰囲気で行うことができました。

児童からは、「普段接する機会の少ない議員さん達と直接お話をし、津久見市のために頑張っていることを初めて知りました」などの感想が寄せられました。

市議会について学習したことで、この中から、議員になる人が出てくるかもしれませんね。

それぞれの夢に向かって ガンバレ！